

「工事発注時チェックシート(案)」(橋梁詳細設計)の試行

1. 目的

詳細設計完了後、工事発注は数年後となる場合が一般的です。工事発注時に発注担当者が詳細設計における設計条件や配慮事項を適切に把握し、円滑な工事発注につなげるとともに、工事発注作業の効率化を図ることを目的として、詳細設計時に「工事発注時チェックシート(案) (橋梁詳細設計)」を作成する試行を行うものです。

2. 内容

「工事発注時チェックシート(案) (橋梁詳細設計)」は詳細設計業務の成果品の一部となり、詳細設計時に設定された設計条件、関係機関との調整状況や工事発注時の配慮事項を様式に定め、受注者(建設コンサルタント)が記載し発注者が確認し作成するものです。

3. 費用

工事発注時チェックシート(案)」の作成にかかる費用は見積もりにより設計変更の対象とします。

4. 試行業務の選定について

橋梁詳細設計が対象であることから、設計対象橋梁の現地状況を踏まえ、道路部道路工事課及び事務所と調整し、試行業務を選定するものとします。

「工事発注時チェックシート(案)」(橋梁詳細設計)の活用イメージ

発注者

橋梁詳細設計業務の
受注者(建設コンサルタント)

橋梁下部又は上部工の工事
の参加者、受注者

橋梁詳細
設計業務

工事発注時チェックシートの作成
(橋梁詳細設計業務の成果品の一部)

※受注者が記載し、発注者が確認し作成

※設計ストックの
確保の観点から
詳細設計完了から
工事発注は数年
後が一般的

設計担当課から
工事発注担当課へ共有

工事発注時チェックシート
を活用し工事発注を計画

工事
発注時

工事発注

- ・工事発注手続き中
参加業者へ橋梁詳細設計業務の成
果品(工事発注時チェックシート含む)の閲覧
- ・工事契約後
受注者へ橋梁詳細設計業務の成
果品(工事発注時チェックシート含む)の貸与
三者会議での活用